令傳授
歌
吟
人數
訓
全

伊地知文庫
文庫20
319

伊地知氏書冊

古今六書傳
和歌秘傳

功級秘云

左章　木　順章
右章　金　逆章
前章　火　鹽章
後章　水　連章
中章　土　寃章

篇序類曲流

篇五月園序　倉稲山の　郭之

松西文庫

明和十年
求之
四月廿八日

姓章八

三體

[illegible]

○白雪

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○白雪

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○白雪

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

稿屏風　[illegible]

[illegible]

白云

[illegible]

世の中は稿屏風　[illegible]

みとめまくとい[illegible]

[illegible]

[illegible]

呼子鳥

一弦琴 琴色の中に呼子鳥と呼ぶ事あり

鶯 郭公 轉 轉ノ誤ナラン

[illegible]

傳曰

是伊勢物語ト云

呼子鳥呼子鳥と云ふ歌ちくさあり[illegible]

人よも[illegible]

[illegible]

書曰

呼子鳥呼子鳥と云ふ歌[illegible]

二位呼子鳥陽の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

千歳安永二癸巳歳　[illegible]

[illegible]

百今和歌集傳授秘訣

一三ヶ大事　一　御賀玉不

鳥帯ト云

一三ヶ大事　二　妻戸削牽

[illegible]

一三ヶ大夏　三　賀茂姫草

[illegible]

重大事

御賀玉木

書戸前老

賀和歌草

一 鳥紫紙 御賀玉とゝ[illegible]

一 書戸前老神璽 [illegible]

一 賀和歌草寶劔 [illegible]

重々口傳

一 内侍所

一 神璽

内侍所

八坂瓊曲玉 神璽

草薙劔 寶劔

正直

慈悲

一 寶劔

内侍所 [illegible]

[illegible] 一切正直 [illegible]

神璽玉 [illegible]

日神 [illegible] 御中 [illegible]

[illegible] 草薙劔 [illegible]

[illegible] 自水 [illegible]

[illegible] 口傳 [illegible]

[illegible] 慈悲 [illegible]

征伐

[illegible]

[illegible] 正直征伐の三つ [illegible]

の神器の制作を見ると和中を以て則根の國家成
是日神御国祖君御主宰の神乃一新の心を
不可察矣

上裏諦の事

天名ふかつふ空假中の三諦乃和う真俗二諦
を玉手乃御玉諦と云ふ為をあらはすなり
から文字はしうの天名は三諦即是の法門を
南方乃天木御所空假中を見百像のうつの所
みく御諦と者世乃二つ乃ちらはしく面と二成
世乃多かみのうの是れ中道実相と世代此

集古今の和歌を御清ふ時和歌を古
うの百像乃神代乃代々の史を日神の正後
を示すみく神道の乃ふ法と中品しく神と
海しの御乃法神と玉和うみあれいなり
玉鉾のおと玉深也

三寸之乃事

天地神人命

一之世乃正かく世乃ちうの上之のちうの下之鉾の天鉾
表裏御乃之ふ世乃表中と天之鉾りてをちう
中之鉾の世と乃時鉾之表鉾神帝しをんとて
天之鉾乃ちうの二世乃之ふ乃之乃

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

示[illegible]時[illegible]十代[illegible]別[illegible]

神[illegible]

取物　榊　不変性常住

高[illegible]　意識[illegible]物[illegible]相

弓　神代有四弓

杖　憶明　了力星

岩戸　識境自在性

右古今集之伝授之秘決　閲書

細川幽斎玄旨法師御自筆　吉田神部[illegible]

之伝[illegible]

三之口伝之図　宗祇

一　御賀之本

[illegible]

[illegible]

元木と、竈をかけ鍋と云事、是三社の神業ハ
俗かふつく秘事なり
荒唐説幽学伝云と有多くハ木なりと竈と
云と云心ハ多学なれ不ハ方ハ冬ハ家ハ方不学
一書ハ前華芝書ハ書ハなむふ俗ハ義仰かう
ハ多ハ神業の印を知ハ之ハ後ハ仰仰かハ日ハ
云此ハ代印と云事ハ陰門ハ多ハ用ハ
陽ハ用ハ
天照ハ神ハ業ハ多ハ玉ハ飯ハ取ハ
ハ多ハ陰陽和合ハ心ハ陽ハ合ハ業ハ有ハ
是ハ俗ハ是ハ神業の心ハ是ハ章々秘説有ハ

ハ云書ハ仰ハ書ハ
一賀和塩種　河骨ハ是ハ心ハ
此草田ハ重事ハ
此ハ不ハ元ハ
西ハ
俗ハ
是ハ
不可有

三島之事

一百千島ハ俗ハ是ハ此ハ書ハ百物ハ

形文の心なり　あらたまるは豊法住法住世間
和尚住の法花の文の心なり　これ豊ふるの義
有為の身の儀なり　此身を二度あらたまるなり
ゆゑに常住なり　なるの通じ世界の永とは
ゆゑの如来なり　常住とは一切
如来無尽の有為の身なり　経に衰老の相
なり　是を能可思惟なり

一　衆生の為に法を説く人　仏法を説く人
此の者　如来の使なり　是の人の所説
如来山中の世界なり　一往の説なり

ゆゑに法花の山なり　山なるゆゑに常住
なり　たんなるゆゑに言なり　山中も
無住の通の為なり　是を理とも
ゆゑに　大寂寂の心
なり　元来　言下に分別かしおはる
なり　不可説なり　作自然なり
すなわち　元はしめの無明を思量なり
一　稲屋島の事　石屋の事　人と同意
なり　法陽和合して　大異しなり　不生なり
なり　神書小鶴の　これ　なり
なり　たんなる　なり　なり

下端ハ世に遠ざかり四人世三名と共合一身ノ
ごとく心得候者多間有之候山中ふかく
住居有来世一物の無欲にして人ふれ
ざる所に隠しおき杖ばつの命をうるこゝ
自然と云字杖とたゞふ字らしなんとゝもむく杖はん
如ものおとをつくとゝいふ意成ハ字を略句と
ふ国外に振出のもの未詳と風なる所に未ふと迄
ハ百千万に一つとてはなり
かくのごとく修行の者も印の春ハ
多ハ多ハふおとあるハ仏業にあ如ふり

ハ其ゝ如ハ此しくおり其ハ姿ハ此かゝるゝ

一みたるに翁の事

住吉大明神の御使に英彦刑と云三人ふり赤筒男
中筒男底筒男三神乃御事なり世奇三首と行
ものと行者の神の名をもふとゝ名乗ゝ三
首三神に御奇と称るゝ時のかゝ道ゝ名ゝ
ものの御ゝと云くの御奇ハ年代記ハ
二度ハ行ハ年ハ御使の英彦ハ尾くしの
御奇と名ふ名ふ二度ハ二度ハの老ゝ
此ハ人と云ふ世ハ名ふ御教ハ年ハ

[illegible]

[illegible]

心を愚痴と無明の道とをわかれ[illegible]

[illegible]

[illegible]

右是近秘録 [illegible]年 [illegible]

写本云 宗祇法師自筆 [illegible]

右奥書之証如聖盟仏見論法方同師方七

若於遠国[illegible]歌道之[illegible]

法式之類[illegible]

天和元 [illegible]年 [illegible]

[illegible]月廿五日

[illegible]

此秘録細川云旨ヨリ宗祇[illegible]

[illegible]

古今集序歌等之極秘く誤写
他見不可 右秘中之深秘
う秘

安政二 乙卯 三月吉日

[illegible]

和歌教訓

夫和歌ハ天地自然之[illegible]
[illegible]
[illegible]

家之思ふ所を詠じ、物の情を動し、物の情を感ずる事、是詩なり。
感而遂通天下之志、情と志と、ともに作るなり。又之を奇と思ふ人あり。
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

一聚雪集道達[illegible]　道代語[illegible]

[illegible]

右一品中務卿仁親王御筆訓之出

條

一[illegible]

一京都貴門之[illegible]

一制[illegible]

一[illegible]

一和歌の方[illegible]

[illegible]

一和歌の同会数[illegible]

十首[illegible]

[illegible]

一事[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

人を用ひうるに非ざれば不入の門と称し常に
学者頭の奇優と人を一カあるやうに誤り多かるべし
むつかしく化新しい何はなしくさとよろしく学練
小治等を主とされい奇あるべし
一奇は学識に古奇を警策せざれば叶ふまじ三代集白傷
新勅撰新撰等作り為家の家集うまい為家の集
竹庵集小西傷等を輪言集（俗名言元）近代短歌史北影此等
以て二条家の眼目と為す
一作例多く古に集を白傷の引用十代集に非ず非
以て絶必と就用あり也牧白の家集小作例引用
以て作例とす
一詞文章を元亨最初の学練ふを宗とし常に人口に
以ふ知ふ者例へ古事年暦不元亨ふ信一

一和歌心の為連歌狂奇俳諧ふふんとうの者し百
代に達の之い何事し新あるべし
一面内作人の為批判を達の為頂かとう語丁と
穿鑿亦ふ之益ひしとう変ふ害ひう繁ふ作り
也

右故前内府為和謂殿前に弘ふと覚
語只漏世一巻拝見をう寸此者や
光胤

要永二年三月　日　写三年

大秘伝白修人集

夫和哥の神明の道伝道は所謂天之速
歌い人皇十一代垂仁天皇
日本武尊の命ぶ給ひ[illegible]
以て上の句とすべしと[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

石二句ハ二家ニ二所ニ印あるゝ以上乃
ものゝ[illegible]

面八句ハ海之変

一 是発句大物筆ハ花ニ寄相ゝ[illegible]位
[illegible]句ハ[illegible]上さし合さ[illegible]
[illegible]れ[illegible]ハ[illegible]句を[illegible]一[illegible]趣意い
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]蓑[illegible]の白い
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]句ハ[illegible]乃
[illegible]

一 脇の位ハ[illegible]に[illegible]
[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
二ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

発句ハ亭主脇ハ客人者之[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 第三ハ脇の句ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一四句めに服を川さきにやとしてしばらく生
きるとかとおもふて毛髪をそりて
たるやうに生しなりいかうのうさなりて道し
一六句めに才三の郷をうしなひてあるし
為ういうんうりうしうりて
地して桑白を剃髪いたし文字才三いたし四句めに
六句めにかるとめやうめこさるうし
一六句めに髪のこしてあるし
一七句めに六句めをうりうく風宗をうし
一八句めに古人四句めにあるうしやとしうしうし
をうしぬを八句めをいうしうし
てめをたれ事
一九句めうふ金押字

一九句めに上をうしうしハ
一下句三句めうふ金押字のり
へるむく
ひるかたてをそをうしうふ文一筋り
ふりむくすりはこと有
秋を山色の色ふ歌三句
一下句はうしうふ金押字のり
もれ秋はすりはハ月剣
右口傳有之
一下の句ハ千句をうし一ツ行うし改代秘伝押字
ハ月下
一九句めうしうし云切字入り〇ハ字ふ

すゐかのうるし

一そうかふの三字上に入くいてと為るは他と相字なし

たるべしと為し

知のうきうかうれとそばうこうて

世をそとしとふ神へそ御ふ

一げいしゆの三字上にあれいにと為るは

いそけんまきまうこ浜山ゆう

世をすそうす

一らん為るはけらんそ方

御入る山や月のひかりん

加藤と御乃ちとびたなるこ有れかるんとうこふ

世ゐ為ゆうんるう又せんそうこらんと為

るれらんとゆなるう

草は居を表と用やてとゐらん

世をそうるゆれかるこ今題ふらんい

月居なる水山の奥や雨うらん

加藤と世をきりのとなるこ人にさこ行う

一又みなふとひ切ていと為るうるは

いうふやん鶴面人を意ひ

世をひとうのてそ嫌ふなう

いるやんとうこう人弟意初こ

世やんと斗ほくきゆう也と

加藤のるう文ふ高人をうこうとすとそ他者の

ふをそうせうるて

一頭それ云とそこあまこ加分他方

御五海ちゆるは里あこ

[illegible]

一上ゆるしとかくこんかとの事
[illegible]
[illegible]

一そもそもいとくいたしかの事
八ツの御家所
[illegible]
[illegible]

一そもそもかくこと
[illegible]
[illegible]

一下の白丸二五の三口とかきて
山の字ヤ十月[illegible]
[illegible]
山の道[illegible]
[illegible]

一貴賤神祇恒例の内白丸の内ふんかきて後後
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一白毎日白丸[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

一[illegible]と面白く[illegible]ハ[illegible]懐紙に[illegible]

と奥ゑ

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一前句の[illegible]

一[illegible]ハ[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]の連[illegible]に一入[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一仏入滅之日

[illegible]

一薬戒八月十五夜の月

[illegible]

右長頭尼と云い他語真徳の[illegible]長頭尼刹

[illegible]

[illegible]正之要[illegible]道[illegible]一念を
保つ所縁のみを真徳と[illegible]延陀尼を明心
尼と[illegible]

真徳才子

宮川松堅

道柯居士

享保十八年癸丑二月廿八日夜卒

[illegible]九十二歳

辞世

[illegible]

同

[illegible]

同柱亭

[illegible]

日

天[illegible]

此一首ハ天[illegible]の詩の詞と[illegible]の通ふ

道祐生[illegible]

[illegible]

一

遊客

[illegible]

日暮句

五十年師恩[illegible]帝春[illegible]

安永二癸巳 木蓋 仲旬写之 源可通

此書[illegible]

[illegible]

普[illegible]

付[illegible]